

平成 26 年度 一般社団法人室内環境学会第2回通常理事会議事録

日 時：平成 26 年 9 月 26 日（金）17:00～19:00

場 所：(株) アイデック 7階会議室

出席者

理事：中井里史（代表理事）、東 賢一、山口 一、関根嘉香、神野透人、水越厚史、野口美由貴

オブザーバー：佐藤 博（九州支部長）、柳 宇（平成 26 年学術大会長）

監事：斎藤育江

事務局：中島大介（事務局長）、松木秀明（会計）、橋本一浩、色摩 操

欠席理事：柳沢幸雄

本理事会は総理事数 8 名のうち過半数である 7 名が出席していることから、定款第 34 条により成立した。また同第 33 条により、本理事会の議長は中井理事長が務めた。

議事次第：

1. 平成 26 年度決算報告（暫定報告）

松木会計から 9 月 1 日時点の暫定報告があった。H25 年大会収入、JASIS 講演会収入などがあり、単年度で黒字の見込み。

2. 平成 27 年度予算案

中井理事長より予算案の提案があり、一部修正の上承認された。

3. 平成 27 年度事業計画案

中井理事長より事業計画案の提案があり、承認された。

4. 委員会活動等報告

事業委員会：特に JASIS 講演会には非会員 42 名を含む 64 名の参加があり、盛会であったと山口委員長より報告があった。H27 年 1 月 30 日に同内容の講演会を大阪でも開催予定。

広報委員会：水越委員長より「J-STAGE イベント 検索エンジン連携・OA 対応方針説明会」への参加報告があった。JOI から DOI への一本化されること、オープンアクセス化の流れがあり、検討が必要なことなどが報告された。

社会連携委員会：野口委員長より、外部団体からの問い合わせに関する手続き策定について提案があり、引き続き検討することとした。また公的資金獲得のための応募に関する規程案が提案された。これに対し、事業委員会の負担が大きく、運用面に不安があるとの指摘があった。また発案グループの枠組み（非会員の扱い等）について更に意見を集約することとした。

学術委員会：東委員長より、調査研究助成基金へアイデック社から 2 口、個人の方から 1 口の募金があったこと、公募を 12 月に開始する旨の報告があった。

出版委員会：関根委員長より 17 巻 2 号の準備状況と、この号から責任著者（corresponding author）の表記を行うとの報告があった。

5. 平成 26 年学術大会準備状況

柳大会長から報告があった。現時点で講演は 134 件と例年を上回る件数であるとのこと。展示は現時点で 8 件だが、引き続き依頼を続けることとした。また開会式を行うことも検討することとなった。前日の理事会は 14:30 から、評議員会を 16 時から開催することで調整した。その他いくつかの事項について確認を行った。

6. 学術大会手順書 WG 報告

東代表より、「学術大会開催マニュアル（案）」が提出された。大会長奨励賞について加筆することとし、更に意見があれば 2 週間をめどに連絡することとした。完成したマニュアルについては、将来的に

HP の会員専用ページに掲載すると良いとされた。

7. 定款の変更について

中井理事長より定款変更案の説明があった。第 39 条 1 の業計画書および収支予算書について、総会の承認を不要とすること、第 40 条について不明瞭な部分を明確化したことなどの変更理由が説明され、承認された。この後、総会で承認を受けることになる。

8. 学会編集書籍の出版に関する規程

中島事務局長より、前回理事会で提案された書籍の出版に関する規程について、メール審議を経て決定された最終版が報告された。

9. 室内環境学各論作成状況

関根出版委員長より状況が報告された。化学物質編と微生物編の 2 冊が編集中であるが、様式の統一について折り合いがつかず、別シリーズで進行しているとの説明があった。

10. 平成 26 年度論文賞

関根選考委員長より選考結果に基づき 2 編が論文賞に推薦されたことが報告された。この後、理事長から評議員会へ諮問する手順である。

11. 名誉会員の推挙について

中井理事長より、名誉会員に推挙すべき方の推薦依頼があった。

12. 永年賞・査読者賞

12 月の総会での表彰に向け、両賞について現状を確認した。永年賞は受賞対象となる会員が 2 法人あり、事業委員会で審議することとした。査読者賞は 10 月の編集委員会で議論する予定と確認された。

13. 平成 27 年学術大会について

中井理事長より、27 年学術大会は沖縄で開催したいとの意向が示された。会場の沖縄コンベンションセンターの費用については、減免措置等を利用すると佐世保の大会と同程度であると説明された。沖縄には本会の会員がいないが、現地の準備や交渉は琉球大の堤純一郎先生の協力が得られる。大会長・実行委員会については理事会 + α で対応すること、日程は平成 27 年 12 月 3・4 日とすることが提案され、了承された。これに従い、会場を予約することとした。

14. 地域文化財保全分科会について

中島事務局長より、ホームページ上での地域文化財保全分科会の名簿掲載について問い合わせがあった件について報告があった。HP での名簿について、分科会は世話人と幹事のみ掲載することとした。

15. 調査研究助成基金

調査研究助成基金へ計 11 万円の募金があったことを受け、使途は学術委員会で検討すること、募金者名をホームページに掲載することとした。

16. 選挙における投票用紙の通し番号について

中島事務局長より本件について説明があった。先般の理事長候補信任選挙において、投票用紙に通し番号が打たれていることは不適切であると会員から指摘があった。選挙管理委員会での作業の都合上ナンバリングしているものであり、投票内容を追跡できるものではないこと、会員にはメールでその旨説明したこと等が報告された。今後はナンバリングをせずに作業するよう、次期選挙管理委員会へ申し送りすることとした。

17. 平成 26 年 12 月の通常理事会等日程について

次回理事会は 12 月 4 日 14 : 30 からの開催で調整した。

18. 入会仮承認者の正式承認

事務局から示された平成 26 年 6 月以降の入会仮承認者リストに基づき、正会員 17 名、学生会員 33 名全員の入会が正式に承認された。

19. その他

- ・委員会の規約と定款と整合をはかる必要があり、特に出版委員会の内規について見直すこととした。
- ・理事選任順について確認した。
- ・株式会社アイデックへの事務局委託に関する覚書案が理事長より示され、承認された。
- ・会員動向について事務局から報告された。学生会員が増加している。2 年以上会費未納者が 32 名おり、今年度分未納者と合わせ、督促済である。
- ・委員会活動費の収支報告を提出するよう、事務局から依頼があった。
- ・法人会員懇談会の内容について野口委員長から案内があり、一般会員の参加の是非について意見交換があった。
- ・平成 27 年 1 月 23 日に九州支部研究発表会が気環境学会とジョイントで開催されることが案内された。

以 上